

社会資本総合整備計画 事後評価書												令和06年03月27日
計画の名称	活力のある都市の再生と、災害に備えたまちづくり（２期）（防災・安全）											
計画の期間	平成２９年度 ～ 令和０３年度（５年間）									重点配分対象の該当		
交付対象	東京都,足立区,江戸川区,八王子市,昭島市,稲城市,中野区											
計画の目標	東京都では、災害に強い都市づくりを進めるため、都民や区市町村、事業者等と連携して、防災性向上に向けた取組を進めている。 そこで、都市再生区画整理事業により、防災性の向上に寄与する都市施設を整備するとともに、宅地利用を増進することで密集市街地の解消を推進する。 ・区画整理事業により公共施設の整備に併せ宅地の再配置を行い、安全で利便性のあるまちを形成する。 ・延焼遮断帯や避難場所ともなりうるオープンスペースを確保するため、区画整理事業により公共施設の整備を推進する。 ・防災上危険な老朽建築物が密集する地域において、区画整理事業により狭あい道路の改善を図ることで、防災に強いまちを形成する。											
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	3,806	Ａ	3,806	Ｂ	0	Ｃ	0	Ｄ	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)	(H31末)	(R3末)
１	・区画整理事業により整備されたオープンスペースの面積を41.8ha（H29）から54.0ha（R3）へ増加させる。			
	-	42ha	52ha	54ha
	区画整理事業により整備されたオープンスペースの面積＝Σ基幹事業地区の公共施設整備面積			
２	・区画整理事業施行地区における良好な街並みの面積を80.5ha（H29）から107.1ha（R3）へ増加させる。			
	-	81ha	103ha	107ha
	区画整理事業により整備された良好な街並みの面積＝Σ基幹事業地区の使用収益開始面積			
３	・区画整理事業により、消防活動困難区域を50.8ha（H29）から27.9ha（R3）へ改善させる。			
	-	51ha	29ha	28ha
	消防活動困難区域＝幅員が６m以上の道路において設置されている消防水利より半径140m以遠の範囲			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	都再区画	一般	東京都	直接	東京都	－	－	六町四丁目付近土地区画 整理事業	都市再生区画整理 A=69.0ha	足立区	■	■	■	■	■	2,184		－	
		安全																		
	A13-002	都再区画	一般	足立区	直接	足立区	－	－	佐野六木土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=24.8ha	足立区	■						310		－
		安全																		
	A13-003	都再区画	一般	江戸川区	直接	江戸川区	－	－	南小岩七丁目土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=4.9ha	江戸川区	■	■	■				36		－
		安全																		
	A13-004	都再区画	一般	江戸川区	直接	江戸川区	－	－	南小岩七丁目土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=4.9ha	江戸川区						■	16		－
		安全																		
	A13-005	都再区画	一般	八王子市	直接	八王子市	－	－	中野中央土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=18.4ha	八王子市	■	■	■	■	■		317		－
		安全																		
	A13-006	都再区画	一般	昭島市	直接	昭島市	－	－	中神土地区画整理事業（ 第二工区）	都市再生区画整理 A=45.5ha	昭島市	■	■	■	■	■		121		－
		安全																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-007	都再区画	一般	稲城市	直接	稲城市	－	－	稲城榎戸土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=25.3ha	稲城市		■	■			134	－	
		安全																	
	A13-008	都再区画	一般	稲城市	直接	稲城市	－	－	稲城榎戸土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=25.3ha	稲城市					■	19	－	
		安全																	
	A13-009	都再区画	一般	稲城市	直接	稲城市	－	－	稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=10.6ha	稲城市	■	■	■			118	－	
		安全																	
	A13-010	都再区画	一般	稲城市	直接	稲城市	－	－	稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=10.6ha	稲城市					■	5	－	
		安全																	
	A13-011	都再区画	一般	稲城市	直接	稲城市	－	－	稲城南多摩駅周辺土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=12.2ha	稲城市	■					190	－	
		安全																	
	A13-012	都再区画	一般	稲城市	直接	稲城市	－	－	稲城南多摩駅周辺土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=12.2ha	稲城市			■			23	－	
		安全																	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-013	都再区画	一般	稲城市	直接	稲城市	－	－	稲城南多摩駅周辺土地区 画整理事業	都市再生区画整理 A=12.2ha	稲城市					■	59		－
		安全																	
	A13-014	都再区画	一般	稲城市	直接	稲城市	－	－	稲城矢野口駅周辺土地区 画整理事業	都市再生区画整理 A=16.8ha	稲城市	■	■	■			49		－
		安全																	
	A13-015	都再区画	一般	稲城市	直接	稲城市	－	－	稲城矢野口駅周辺土地区 画整理事業	都市再生区画整理 A=16.8ha	稲城市					■	134		－
		安全																	
	A13-016	都再区画	一般	中野区	間接	都市再生機 構	－	－	中野三丁目土地区画整理 事業	都市再生区画整理 A=1.0ha	中野区					■	91		－
		安全																	
											小計						3,806		
										合計							3,806		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
要素事業毎の実施状況を東京都が取りまとめ、東京都都市整備局の評価方針に則り、評価書を作成	令和５年度中
	公表の方法 東京都のホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽化した住宅の建て替えが進むとともに、区画道路・公園等の公共空間が確保され、防災上危険な密集市街地の解消につながった。 狭隘な行止り道路や見通しの悪い道路が解消され、緊急車両等の通行が可能となった。 鉄道駅に隣接した駅前広場の整備をしたことから、安全で住みやすい市街地形成を促進した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	駅周辺における良好な市街地の形成、商業・業務機能の向上につながった。 駅前までコミュニティバスが乗り入れられるようになり、他地区へのアクセスも良化した。
○特記事項（今後の方針等）	
所管課と密に連携し、各要素事業の進捗状況について情報共有を図るとともに、事業推進に必要な国費を適切に配分する。 予算状況により事業進捗に影響を及ぼす場合もあることから、引き続き国費確保に向けて、予算要望や情報収集を行う。 事業スケジュールの遅延が生じている要素事業について、所管課と連携し、進行管理の徹底や事業効果の早期の発現に向けた工夫などを事業者に対して指導していく。 。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	区画整理事業でのオープンスペースの面積（h a）		
	最 終 目標値	54ha	土壌汚染対策による工事期間の延伸や移転の遅れのため
	最 終 実績値	51ha	
2	使用収益開始面積（h a）		
	最 終 目標値	107ha	関係権利者との合意形成に時間を要したため
	最 終 実績値	101ha	
3	消防活動困難区域の改善（h a）		
	最 終 目標値	28ha	区画道路の整備に併せた消防水利の整備
	最 終 実績値	27ha	